



小中連携教育研修会（高千帆中学校、有帆小学校、高千帆小学校、高泊小学校）

高千帆中学校区4小中学校の教頭と学力向上担当教員、研修主任による知の部会が、有帆小学校で行われました。はじめに、地域の方によるホタルの学習や国語、英語などの授業を参観した後、各校の学力向上における現状と課題について話し合う中で、それぞれの特色ある取組が紹介されました。また、知の部会の目標である学習習慣の定着のために、各校の実情に応じた家庭学習計画表を作成し活用することが決まりました。今後、8月の合同学校運営協議会で提案し、2学期から実践する予定です。



学校運営協議会に6年生が参加（出合小学校）

出合小学校の日曜参観日に続いて開催された学校運営協議会では、全国学力学習状況調査の結果を受けて、『学習における子どもたちの困り感を解消するために』というテーマで6年生と委員、教職員で熟議が行われました。集中力をつけることや面倒くさいと思う気持ちを変えることなどについて、グループに分かれて児童は委員や教職員からアドバイスをもらいました。大人が子どもたちの悩みを親身に考える温かさが感じられました。最後に代表児童が「いい改善策が見つかったので生かしていきたい」とお礼を述べていました。



選挙に関する出前講座（厚狭小学校）

将来主権者となる児童が、政治や社会の仕組みに関心をもって生活できるようにするため、厚狭小学校の6年生が市選挙管理委員会による出前講座を受講しました。はじめに民主主義や選挙の歴史、投票することの大切さ等について、クイズに答えたり動画を視聴したりして学びました。ある国で電動キックボードを禁止にするかどうかを決める選挙があって、関心のない人や禁止になるとは思わなかった若い人が選挙に行かなかったために禁止になったという話を聞いたとき、児童は改めて選挙のチカラを感じた様子でした。

